

高校生の進路選択を考える

第3回 大学生の声

このコーナーでは、大学教育や高校教育、そして大学入学者選抜が変わっていく中で、高校生の進路選択は、高校での進路指導はどのように変わっていくのか、考えていく。

今回は、高校生の進路選択の現状について、大学1年生へのアンケートの結果を紹介する。文系、理系、目的養成系で、大学進学の時点での将来の見通しや、進路選択にあたって考えたことに違いがあることや、進路指導・キャリア教育の一環で行われる活動のほか、部活動や学校行事等を通じて高校生が進路を考えていることが明らかになった。

Kei-Net 特派員アンケートより

ガイドライン編集部では、2016年6月～7月にかけて、Kei-Net特派員（受験生に大学入試のアドバイスや大学生活のレポートをする大学生）に登録している大学1年生を対象に、進路選択に関するアンケートを実施した。有効回答数は216件（国公立大学120件、私立大学96件）。その概要を紹介する。

文系、理系、目的養成系で異なる傾向

まず、高校生のときに進路選択をした時点での将来の見通しについて聞いた<図1>。

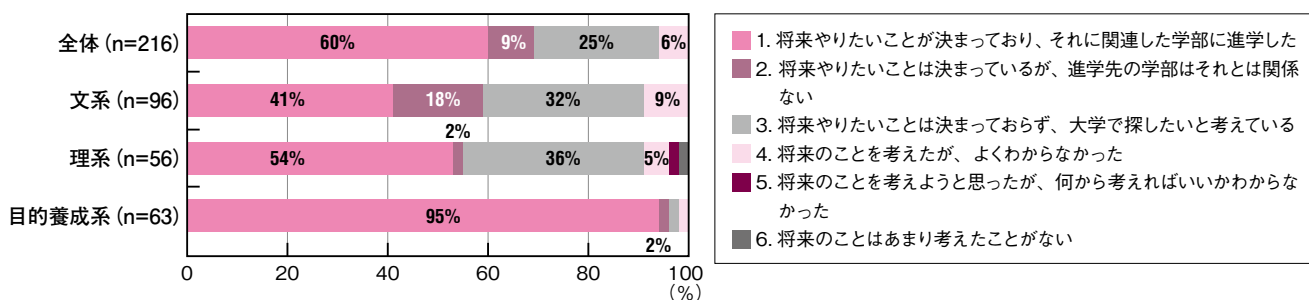
全体では6割が「将来やりたいことが決まっており、それに関連した学部に進学した」と回答したが、その割合は学部系統によって異なる。

いずれの系統も「将来やりたいことが決まっており、それに関連した学部に進学した」の割合が高く、特に目的養成系（医・歯・薬・保健系、教員養成系）は95%と

なった。一方で、文系（文・人文、社会・国際、法・政治、経済・経営・商学系）では「将来やりたいことは決まっているが、進学先の学部はそれとは関係ない」とする学生も2割程度見られた。また、文系、理系（理、工、農学系）とも、3割以上の学生が「将来やりたいことは決まっておらず、大学で探したいと考えている」と回答した。

高校生のときの進路選択にあたってどのようなことを考えたか、当てはまるものを全て選択してもらったところ、「将来、どのような仕事をしたいか」（69%）、「大学でどのようなことを学びたいか」（51%）、「教科・科目の好き・嫌いや得意・不得意」（45%）となった。文系、理系、目的養成系ともこれらが上位3つを占めるが、系統によって傾向は異なる<図2>。目的養成系は「将来、どのような仕事をしたいか」が94%となった。前項の「進路選択をした時点の将来の見通し」と同様、これらの

<図1> 大学進学時の将来の見通し



系統では将来の仕事を見越した上で学部選びをしているようだ。一方、理系の場合は「教科・科目の好き・嫌いや得意・不得意」が最も高い割合となり、特に数学や理科などの学習が進路選択に大きな影響を及ぼしていることがうかがわれる。

さらに、進路選択に当たって高校生のときに行った活動について、当てはまるものを全て選択してもらった<図3>。「大学調べ」が71%、「オープンキャンパス」が60%と割合が高く、「職業調べ」「将来の夢ややりたいことをまとめる」などが続く。目的養成系の場合は、一般入試でも面接や小論文が課される大学が多いためか、「将来の夢ややりたいことをまとめる」や「自分の長所・短所をまとめる」の割合が、他の系統に比べて高い。

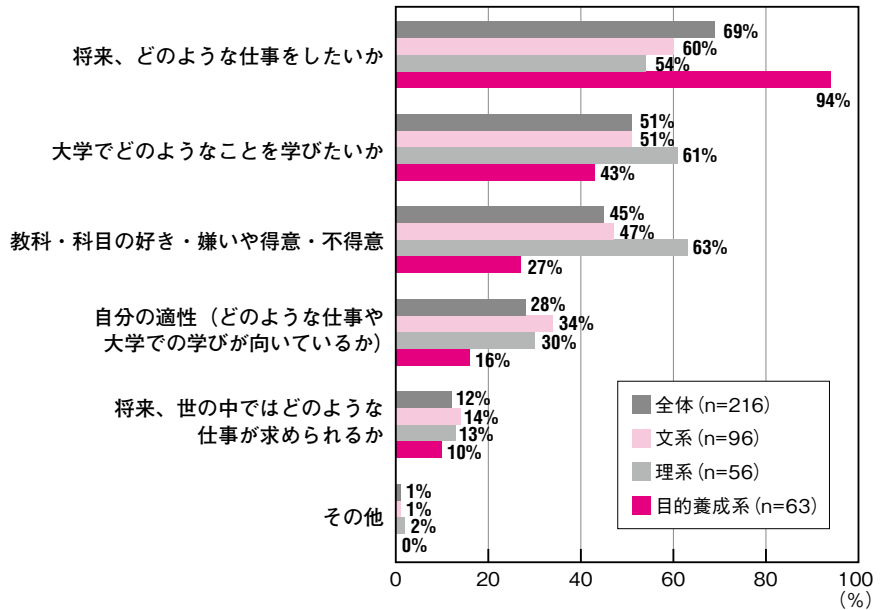
**進路学習のほか
部活動や学校行事等を通じて
進路を考える**

進路選択に当たって参考になった高校での活動や、先生からのアドバイスについて自由に記述してもらった。高校での活動については、大学調べやオープンキャンパス、社会人や大学生の話や聞くといった進路指導・キャリア教育の一環で行われる活動のほか、部活動や学校行事、地域での活動なども挙げた。

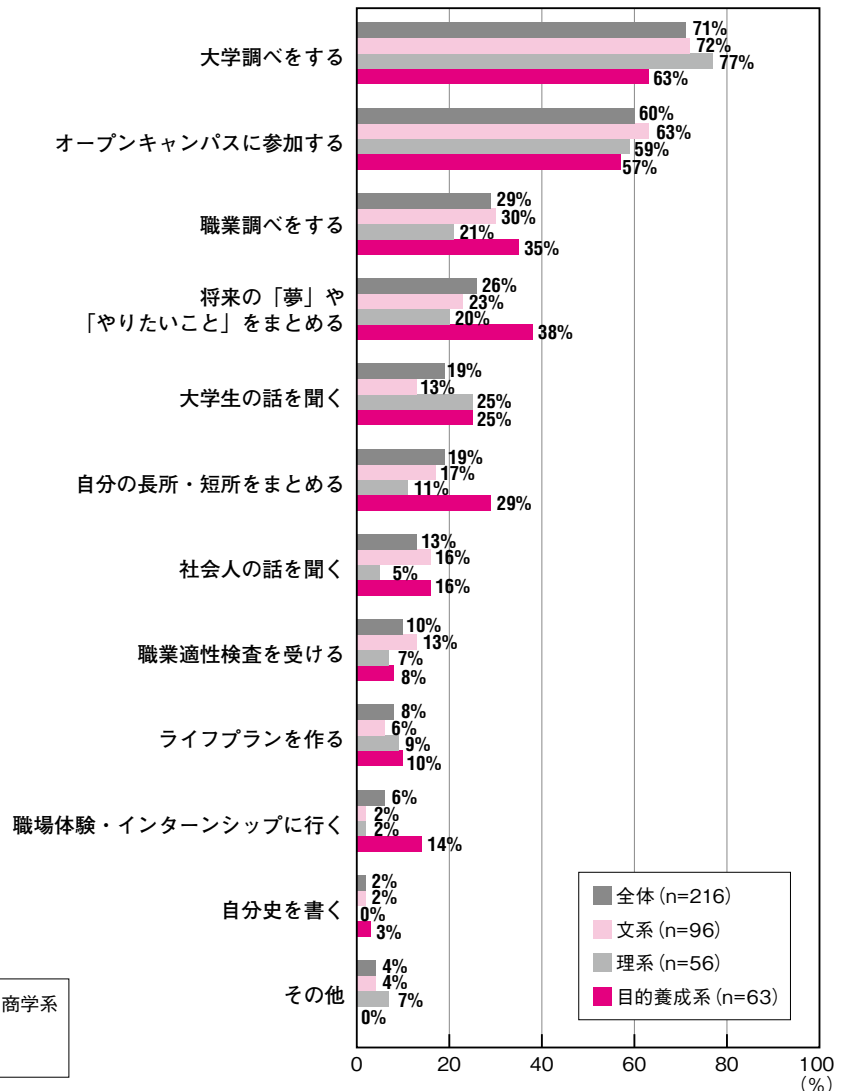
先生からもらって参考になったアドバイスについては、「自分のやりたいこと・目標を貫く」「視野を広く持つ」「社会や仕事も見越して考える」などが多く挙げた。次のページで、コメントを紹介する。

文系：文・人文、社会・国際、法・政治、経済・経営・商学系
理系：理、工、農学系
目的養成系：医・歯・薬・保健系、教員養成系

<図2>進路選択において考えたこと



<図3>進路選択に関して高校で行った活動



進路選びに参考になった高校での活動

学部・学科調べ、大学調べをする

◆志望大学のメールマガジンのおかげでどんな研究ができるのかイメージができた。また、高校の先生が、心理学にはいろいろな種類があることを教えてくれ、それがわかる本を貸してくれた。(文・人文系、①)

大学の雰囲気に触れる

- ◆オープンキャンパスに行つてその大学の雰囲気をみるのがいいと思います。オープンキャンパスに参加して実際に大学キャンパスを見てみるとやる気が上がります。(医学系、①)
- ◆オープンキャンパスは一種のお祭りなので、普通の大学を見に行つてみるとよい、というアドバイスが役に立った。(社会・国際系、④)
- ◆現在通っている大学の先生の模擬講義を高校で受講した。私自身も含めて、自分の進路選択に影響を受けた人は少なくないように思う。(工学系、③)

大学生や社会人の話を聞く

◆私は医師になることを目標としていましたが、高校でさまざまな医療系の講演会や、実際の医師の話を伺う機会などがあったことが、進路選びにおいて非常に参考となりました。(医学系、①)

- ◆高校の卒業生から、大学生活や就職活動の話聞いた。また社会人の先輩からは、仕事のやりがいや苦勞について座談会形式で聞いた。(教員養成系、①)
- ◆大学生の先輩から、大学受験の様子を聞くだけでなく、現在どのような活動を行っているのかも聞く機会があったことが参考になった。(経済・経営・商学系、①)
- ◆さまざまな分野の研究職の先輩方とお話ししたり、研究所見学に行つたり、パネルディスカッションをしたこと。生物分野に関することが比較的多かったが、自分は生物より化学がやりたいのだなと漠然と思うことができた。また、先輩方から何う最先端の研究のお話はとても刺激になり、大学の研究を調べる第一歩となった。(薬学系、①)

職場体験・インターンシップに行く

◆将来看護師になりたい人は、高校生ができる看護体験などを一度体験しておくとういと思ひます。実際に自分の目で見てみて自分が将来ずっと続けることができるか考えてみたほうがよいです。なぜなら看護師の仕事は体力的にも精神的にも辛く、その覚悟がないまま、看護師への道に進んでしまうと進路変更もしづらく大変だからです。また看護体験では看護師も楽しい仕事ばかり体験する可能性が高いので、インターネットなどで看護師の辛い仕事を調べておき、自分がそれに耐えられるか考えてみましょう。(保健系、①)

◆病院ボランティア。早い段階で職業体験できたのは非常によかった。(医学系、①)

部活動や学校行事等を通じて進路を考える

- ◆部活動で小学生に講習会を開く活動を行ったことが、現在でも生きていると思う。(法・政治系、①)
- ◆高校の部活動で理系研究を経験したため、研究職という職業にも興味が湧きました。(農学系、①)
- ◆私は部活動を続けてよかったと思っています。部活動の仲間も強かった人は、成績もよかったです。勝ちへのプロセスを考えるという点でも、考えて行動することは学習のすべてにおいて役立ちました。(工学系、③)
- ◆ボランティア部に入っていたため、海外での支援活動を行つてみたいと思ひ、外国語学部を選びました。(文・人文系、③)
- ◆文化祭でお化け屋敷をやり、木工作業や制作などクリエイティブなことがしたくなつたから。(工学系、①)
- ◆旅行委員会で観光業界と関わつたことが、今でも役に立っている。(文・人文系、②)

進路選びに参考になった先生のアドバイス

自分のやりたいことを貫く

- ◆自分は幾度となく、受験に挫折し、その度に諦めかけていた。しかし、「最後まで自分の意志を貫け」という高校の先生の言葉でなんとか頑張りぬくことができた。(医学系、①)
- ◆担任の先生から、自分のやりたいことができる道に進んだほうが、今は苦しいかもしれないが後々は自分のためになるという言葉をいただいた。(薬学系、①)
- ◆将来の夢がはっきりしているなら、不得意科目でも乗り越えていける(薬学系、①)
- ◆「自分の行きたいところを全力でめざしなさい。決して自分の今の偏差値で決めることはないように。今の自分は未来の自分ではないから」というアドバイスが参考になった。(文・人文系、②)
- ◆高校の先生から偏差値で決めるよりも自分が興味のある分野を学ぶことので

きる大学を選ぶようにとアドバイスをいただき、参考にしました。(経済・経営・商学系、③)

◆生徒会の顧問の先生に、自分が今一番やりたいことを必死にやれと言われた。(法・政治系、③)

視野を広く持つ

- ◆少しでも興味のある進路については、インターネットや本などで調べるということ。(医学系、①)
- ◆興味のない学部も一応調べる。調べてみたら興味を持つ可能性もある。最初から切つてしまわないこと。(文・人文系、③)

仕事や社会の現状や今後の変化を見越して考える

◆大学で何を勉強したいか、将来の働き方はどうしたいか、研究がしたいか就

職したいかも考慮するとよいとアドバイスをもらった。(医学系、①)

- ◆将来に自分のしたいことができる人間は一握りで、夢と将来設計とは必ずしも混同すべきでないというアドバイス。自分のしたいこととできることとは別なんだと感じた。(社会・国際系、①)
- ◆現在話題になっている人工知能が、将来、人の仕事を奪っていくだろうと言われるなかで、教師など、人に対して行う職業はなくなると言われて、背中を押された。(教員養成系、①)
- ◆好きなことを仕事にするのか、趣味にするのかというアドバイスに背中を押されました。(保健系、②)
- ◆農学部は就職先が比較的幅広いので、将来やりたいことが定まっていなければ農学部を選ぶのもよい選択だ、と言われた。(農学系、③)

※括弧内は(学部系統、将来の見通し)を示す。将来の見通しの番号については、それぞれP48の<図1>の凡例を参照。